



※屋外での活動時は熱中症対策のためマスクを外しています

消費生活情報

! 水回り修理業者とのトラブルにご注意を

詳細は市HP

【事例】 床下で水漏れし、マグネット広告を見て修理を依頼。作業員が訪問し、水漏れを止めて「床下水道管が傷み、交換が必要」「今日の修理代は8千円。交換工事を契約すればサービスする」と勧誘され、47万円の契約書にサインした。その後、別業者が契約書を見て「高額だ」と言ったので、契約を取り消したいが、6日後に工事を約束しており、取り消しても工事に来る心配はないか。

【相談処理】 作業後に勧誘された工事は不意打ち性が高く、クーリング・オフの対象となるため、クーリング・オフ通知の書き方・出し方を助言。その後、センターは業者に電話し、通知を出したので工事に来ないよう伝え、修理代だけを支払うことで解決した。

アドバイス

- ①緊急を要する水回りトラブルの発生を想定し、初期対応を調べておく
- ②契約をせかされてもその場で判断しない
- ③工事を契約する場合は複数社から見積もりをとって比較検討する
- ④不安な時はすぐに下記へ相談する

三田市消費生活センター (559-5059 FAX 563-8001)
相談受付=月曜~金曜、第2・4土曜 10時~17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188

防災・防犯・交通安全

9月1日は防災の日！
台風シーズンに備えよう

■ 台風の前に、備えや正しい情報を手に入れよう

9月は台風の発生が多くなる時期です。台風の進路など、テレビやインターネットなどから気象情報や避難情報をこまめに確認し、早めの準備や避難を心がけましょう。

■ さんだ防災防犯メール・LINEに登録しよう

市の気象情報や避難情報などをいち早く携帯電話などにメール配信されるさんだ防災・防犯メールに登録しましょう。市公式LINEでも災害情報などの緊急情報を配信します。上記2次元コードから登録してください。

▲LINE

▲さんだ防災防犯メール

■ ハザードマップさんだを確認しよう

ハザードマップさんだで自宅の災害リスクを確認し、いざという時に取るべき行動を考えましょう。紙面版は市民センターなどで配布しています。また、ウェブ版は右記2次元コードからご覧いただけます。

問い合わせ=危機管理課 (559-5057 FAX 559-1254)

共生

「きこえるってどんなこと？」
きこえない人・きこえにくい人を知る

広報誌4月号~8月号で、聞こえない人や聞こえにくい人について、話しかけるときの留意点や筆談のポイントなどを紹介してきました。聞こえない人、聞こえにくい人は、人によって求めるコミュニケーション方法が違い、その人に合った方法を考えることが大切です。今回は、聞こえにくい人のコミュニケーションをサポートするための機器を紹介します。

■ ヒアリンググループ(磁気ループ)

ヒアリンググループはマイクを通した音声を直接補聴器などへ伝えることができ、講演や会議、イベントなどの会場で発言者の声をクリアに聞くことができます。市では、ヒアリンググループの貸出しを行っています。(補聴器にTコイルの切り替えスイッチまたはTコイルを利用できるプログラムが付属している必要あり)

次号から「手話にチャレンジ！」の連載を再開します。一緒に手話を覚えましょう！

問い合わせ=障害福祉課 (559-5075 FAX 562-1294)

消防・救急・救命

本当に必要としている人のために！
救急車の適正利用にご協力を

救急出動件数が6月末時点で、昨年同時期より450件も増加し、中には「早く診察してもらえ」「タクシーだとお金がかかる」などの理由で救急車を呼ばれることがあります。救急車の適正利用にご協力ください。

■ 救急車(119番通報)を呼ぶか迷ったときは！

「病院に行った方がいい?」「救急車を呼んだ方がいい?」「応急手当の方法は?」「近くの救急病院はどこ?」こんな時は、「さんだ健康医療相談ダイヤル24」へご相談ください。医師や保健師がアドバイスをいたします。

●さんだ健康医療相談ダイヤル24

☎0120-310-328

365日・24時間 年中無休
通話料無料(非通知不可)

■ 救急医療週間(9月4日~10日)

市消防は救急車の適正利用について動画(右記2次元コード)やイベントなどで啓発活動を実施。救急車が本当に必要な人へ少しでも早く駆け付けられるようご協力をお願いします。

問い合わせ=消防本部救急課 (564-7305 FAX 563-1230)

"藍のたからもの"をさがせ!



- 1 3年生の10人。この道具を含め"サンキュウの園"にある道具は全て谷口さんの手作り!
- 2~6 「生き物はどこにいるかな?」「他の人が見つけていない生き物・藍のたからものを見つけてみよう!」——県立人と自然の博物館・三橋先生や谷口さんに教えてもらいながら水生生物をさがします。
- 7~8 "サンキュウの園"で谷口さんから「自然を守っていくことの大切さ」のお話を聞きました。最後は環境体験学習の名物・谷口さん手作りの天然ウォーター 슬라이ダーをすべります!

昭和10年、藍北・藍南・藍西小学校の3校が統合して誕生した藍小学校。本年度で創立87年、三田市の中でも伝統ある学校の一つだ。校区内には武庫川が流れ、虚空蔵山がそびえ立つ。自然に囲まれた藍小学校は、教科書だけでは学べない「ここにしかない生きた教材」を通して、自然や環境を守る大切さを学んでいる。今回、環境体験学習に行った3年生の皆さんに学校の自慢を聞いた。

身近な場所が「たからもの」に
屋からは田んぼ道を歩いて「サンキュウの園」に向かいます。ここでは虫を探したり、木の遊具に登ったり、自然の中でいろいろな体験ができます。中でもウォーター 슬라이ダーは格別!こんなに楽しい体験は初めてでした。日出版洗いげきも、サンキュウの園も私たちに特別な場所ではなかったけど、「こんな場所が学校の近くにあるのはラッキーだよ」と教えてもらいました。「藍のたからもの」——私たちがこの自然が大好きです。これからも大切に守っていききたいと思えます。

珍しい水生生物を発見!
藍小学校の周りは自然がいっぱい。環境体験学習で訪れた武庫川・日出版洗いげきは校区内にあり、兵庫県でトップ10に入るほど生き物の数が多い場所です。「生き物が住みやすい環境をつくらう」と地元の人や専門家が、県や市などたくさんの方が知恵を出し合って整備し、この自然を守ってきた。そのおかげで、珍しい魚や水生昆虫も多く、全国から研究者がやってくるそうです。私たちが水生生物を探してみようと、日本でも数少ない場所にしかない「トゲナベブタムシ」や「モンカゲロウ」、岩の裏にいる「ヒラタドロマシ」などたくさんのお水生生物を発見!今までの知らなかった生き物の名前を知ることができました。

環境体験学習の講師を始めて50年。すっかり藍小学校の伝統になっています。ここまで子どもたちの「楽しかった」「もっとやりたい」の言葉で頑張ってくれました。いつも贈ってくれるお手紙が「元気の源」になっていきます。ここの体験が大人になっても思い出に残っていると戻ってきてくれる子もおり、長く続けてきたからこそ喜びを感じます。

校区内にある野外学習施設「サンキュウの園」代表 谷口 誠司 さん